

大会運営上の新型コロナウイルス感染予防対策

1 大会全般について

- (1) 開会式・閉会式は行わず競技は日程通りの開催とする。
- (2) 優勝杯等については、前年度優勝校が競技開始前に事前に本部へ返還すること。
- (3) 競技会場において入場制限（無観客試合）を行う。
- (4) 大会に参加できるのは、監督・引率責任者・選手（大会出場者）・競技役員・競技補助役員（生徒含む）のみとし、選手以外の生徒、監督・引率責任者以外の教職員、保護者、卒業生等は来場できない。
- (5) すべての大会参加者はマスクを着用し、事前に検温・健康チェック等をすませしておくこと。
- (6) 点呼の際に入場者に対して検温を行い、発熱等の症状がみられる場合には入場を制限する場合もある。

2 競技会場について

- (1) エントリーチェック及び毎朝の健診において、特に体温が37.5℃以上の場合には再検査をせず、失格とし速やかに帰宅する。（過去の健康観察簿の記録において、ドクター判断にて失格とすることもある）
- (2) 試合前の動的ウォーミングアップ（シャドーボクシング）は、指定されたエリア内で行い、他の選手と対面になって、飛沫感染のリスクを発生させることがないように注意する。
- (3) マスボクシングおよびミット打ちは禁止する。
- (4) 十分な距離（ソーシャルディスタンス）の確保を行う。少なくとも2mの距離を空けることが適当である。
- (5) 飲食については、所定の控え場所以外で行わず、周囲の人と距離を取り対面を避けて飲食を行うこと。
- (6) 競技中のインターバルは、うがいのみとし、セカンドと競技者の距離をとること。
- (7) セカンドは3名以内とし、マスクを着用しゴム製の手袋着用とする。
- (8) 競技終了後は、使用したヘッドギア・グローブについて、競技役員が消毒等を行う。選手は指定された場所で手洗い手指消毒を必ず行うこと。
- (9) 競技会場は定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行う。